



市が取り組む 障がい者対策は何か

山岡 幹雄 議員

グループホームの
整備促進である

健康福祉部長

障害者対策に特化して市が取り組んでいることは何か。

健康福祉部長 グループホームの整備を平成32年度までに3事業所25人増す計画、土・日の世話人の配置に補助制度を設け、地域アドバイザーと連携しグループホームの整備促進に努める。

正しい理解や知識につ

	H28/4/1現在	H29/4/1現在	H30/4/1現在
人口 ①	64,430人	63,932人	63,417人
高齢者人口 ②	18,808人	19,067人	19,340人
高齢化率 ②/①	29.2%	29.8%	30.5%
後期高齢者人口 ③	8,540人	9,039人	9,513人
後期高齢者率 ③/①	13.3%	14.1%	15.0%
要支援・要介護認定者 ④	2,656人	2,733人	2,777人
要支援・要介護率 ④/②	14.2%	14.3%	14.4%
うち要支援者認定者	712人	721人	693人
うち要介護認定者	1,944人	2,012人	2,084人
独居高齢者人口 ⑤	1,885人	1,956人	2,010人
独居高齢者率 ⑤/②	10.0%	10.3%	10.4%

▲愛西市高齢者人口の推移

いでの地域住民への啓発は。

健康福祉部長 「障害者差別解消法と暮らしの中の気づき」と題し、市民向けに講演会を開催。

健康福祉部長 2025年の高齢化率は32.3%、総人口に占める後期高齢者率は20.3%。

健康福祉部長 2040年の高齢化率は40.7%。

全国で高齢者社会が叫ばれている。何か具体的な問題点があるか。

期高齢化率は。さらに2040年は。

健康福祉部長 2025年の高齢化率は32.3%、総人口に占める後期高齢者率は20.3%。

健康福祉部長 2040年の高齢化率は40.7%。

全国で高齢者社会が叫ばれている。何か具体的な問題点があるか。

健康福祉部長 高齢化率が上昇することにより医療、介護、年金などの社会保障費の増加、少子・高齢化により高齢者を支える若者が減少することなどが考えられる。

2025年に団塊世代の全てが後期高齢者になる。市の高齢者人口の見込みと社会保障費は。

健康福祉部長 2025年の65歳以上の人口は1万8915人、2019年の1万9431人をピークに減少してくる。介護保険給付費は推計で61億7275万円。

市長 少子・高齢化は、全国の問題となっており、介護給付等も、今後年々増大し、国が介護保険等の見直しをし、地方自治体が担うべき責任は大きくなる。

国・県に市の事情を理解してもらうよう要望活動をしていく。